

5. 以下の文は、19世紀と20世紀の代表的な音楽の一部を、ごく簡単に表わしたものです。 [17点]
 下線の部分に、作曲者名を、下の語群から選んで答えて下さい。同じ作曲者名を2度以上用いてもよいです。

19世紀ロマン派音楽では、より規模の大きい音楽や・より自由な音楽など、多彩な音楽が創られました。

「ドイツリート」と呼ばれる歌曲のジャンルは、_____作曲の三大歌曲集「美しい水車小屋の娘」「冬の旅」「白鳥の歌」などで、より芸術的に高められました。さらに、「詩人の恋」「女の愛と生涯」などで有名な_____や「マゲローネ」などを書いた_____などによっても、優れた作品が残されました。

19世紀もオペラが盛んに作曲されました。イタリアのオペラは依然中心的役割を果たしましたが、中でも、ロッシーニ、プッチーニそして「リゴレット」や「オテロ」などを書いた_____などが有名です。イタリア以外では、「摩弾の射手」を書きベートーヴェンも強い興味を覚えたというドイツの_____は、19世紀のオペラに強い影響を与えました。さらに、「楽劇」の概念をうちだし「トリスタンとイゾルデ」「ニーベルングの指環」「ジークフリート」などを作曲した_____は、ドイツのみならず19世紀を代表する作曲家です。フランスの、「カルメン」などを書いた_____なども忘れられません。

名人芸的な作品が多数登場したのも19世紀の特徴です。「24のカプリース」など名人芸的ヴァイオリン曲を多数作曲した_____は、音楽界に強い影響を与えました。彼の影響も受け音楽史上最高のピアニストとも称され、「ピアノ・ソナタロ短調」「超絶技巧練習曲」など数多い名作を残した_____などは、特筆されます。彼は「前奏曲（レ・プレリュード）」など、単一楽章の交響詩を創始しました。この時代オーケストラは多数作曲されましたが、ドイツにおいて交響詩を継承したのは_____で、「英雄の生涯」や「ドン・ファン」などを多数残しました。規模の最も大きいオーケストラ曲としては、_____の作曲した「大地の歌」や「千人の交響曲」などがあります。独奏のピアノ曲が多数書かれたのも、19世紀の特徴です。「24の前奏曲」「バラード」「スケルツォ」「ソナタ」「練習曲」など優れた作品を残した_____は、その代表といえるでしょう。

比較的地味ですが、弦楽器・管楽器などを組みあわせた、四重奏曲・五重奏曲を24曲も作曲した_____は、室内楽の充実に多大な貢献をしました。彼の作品のうち「ピアノ五重奏曲 作品34」や「ホルン三重奏曲」「クラリネット五重奏曲」などは、室内楽の代表作品として挙げられます。

20世紀に入ると、新手法の創作活動が行われました。「牧神の午後への前奏曲」などを作曲したフランスの_____や、「ボレロ」「水の戯れ」などの作品を残した_____は、多彩な和音を駆使して彩りあふれる音楽を作曲し、これまでの音楽とは一線を画しました。また「アレグロ・バルバロ」や「管弦楽のための協奏曲」などを作曲したハンガリーの作曲家_____は、自国の民謡を調査分析して音楽に取り入れたりして、新たな西洋音楽の伝統を築きました。ロシア生まれでニューヨークにわたった_____は、原始主義的で革新的なバレエ音楽「春の祭典」を発表し、そのリズムや音の使い方ですぐに当時の観衆を驚かせました。彼は、後にいろいろな手法の音楽を作曲して、20世紀の音楽に多大な影響をもたらしました。

作曲者名の語群

ウェーバー	ヴェルディ	グノー	サン＝サーンス	コダーイ	ヨハン・シュトラウス
シューベルト	シューマン	ショパン	ジョン＝ケージ	ストラヴィンスキー	トビュッシー
バルトーク	ビゼー	フォーレ	フーゴ・ヴォルフ	ブラームス	プロコフィエフ
マーラー	ラヴェル	リスト	リヒャルト・シュトラウス	ワーグナー	チェルニー
バガニーニ					

6. 上記の問題5. の語群中の作曲家のうち任意の1人を取り上げ、その作曲家の鍵盤作品の特徴について簡潔に説明して下さい。ただし具体的な曲名（作品番号だけでもよい）を、最低1つは挙げて説明するように。 [5点]

